

00541

# 鳥取縣公報

昭和十七年六月二日  
第千三百三十八號

火曜日

## 告示

### 鳥取縣告示第三百二十三號

市街地建築物法施行細則第二十五條ニ依リ左ノ通り假設建築物建築ノ件許可セリ

昭和十七年六月二日

鳥取縣知事 土 肥 米 之

- 一 建築主ノ住所氏名 鳥取市瓦町二二〇番地 大 谷 米 吉
- 一 建築物ノ所在地 鳥取市瓦町二二〇、二二二ノ三番地
- 一 建築物ノ用途 住宅兼作業場
- 一 構造種別及棟數 木造瓦葺二階建一棟
- 一 建築物ノ面積 建築面積 四五二二平方米  
突出セル部分 一六六四平方米
- 一 命令事項 本建築物ノ存續期限ハ都市計畫事業實施迄トス

### 鳥取縣告示第三百二十四號

左記墓地ハ今回改葬ヲ要スルモ緣故者不明ノ趣ニ付有縁者ハ左記  
期日迄ニ管理者ヘ申出ラルベク尙期日迄ニ申出ナキトキハ管理者  
ニ於テ適當措置セララルベシ

昭和十七年六月二日

鳥取縣知事 土 肥 米 之

- 一 前項ノ存續期限滿了ノ時ハ都市計畫事業實施者ノ指定スル  
期日内ニ無償ニテ本建築物ヲ除却スベシ
- 一 本建築物ヲ他人ヘ讓渡シタル場合ハ十日以内ニ届出ツベシ
- 一 知事必要アリト認ムルトキハ本命令書ノ條項ヲ増減若ハ變  
更スルコトアルベシ
- 一 墓地所在地 入幡市大字藤田字左山尾一、六三一區有墓地  
管 理 者 入幡市役所内入幡市神原土地區調整組合長
- 一 届出期日 昭和十七年七月十七日
- 一 墓地所在地 入幡市大藏一、四四三上見墓地

墓 碑 數 二三九基(内土葬五八六個火葬一一六個)  
 管理 者 八幡市役所  
 屆出 期 日 昭和十七年六月末日  
**鳥取縣告示第三百二十五號**  
 產婆登錄名簿取消者左ノ如シ

昭和十七年六月二日

鳥取縣知事

土 肥 米 之

住所 氣高郡明治村大字松上一三一番地

昭和十七年五月八日高知縣高岡郡新字佐町宇

佐一一三番地(轉住ニ依リ名簿取消方出願

五月十五日取消

岩 井 ア エ

住所 氣高郡逢坂村大字會下一〇八番地

昭和十七年五月二十日滿洲國(轉住ニ依リ同

月十日付名簿取消方出願同月十八日取消

谷 尾 榮 美 子

**鳥取縣告示第三百二十六號**

小作料統制令第四條ノ規定ニ依リ左記ノ通小作料統制ノ件認可セ

昭和十七年六月二日

鳥取縣知事 土 肥 米 之  
 一 認可年月日 昭和十七年五月二十六日  
 二 申請シタル農地委員會 八頭郡西鄉村農地委員會  
 西伯郡上長田村農地委員會  
 西伯郡東長田村農地委員會  
 三 農地ノ所在地番地目及面積  
 別冊ノ通  
 (別冊ハ鳥取縣經濟部農務課並右申請各村役場ニ備置ク)  
 四 認可ヲ爲シタル小作料種別額及減免條件  
 別冊ノ通  
 (別冊ハ鳥取縣經濟部農務課並右申請各村役場ニ備置ク)

**鳥取縣告示第三百二十七號**

日野郡溝口町外三ヶ村負債整理委員會委員ニ左ノ者ヲ選任セリ

昭和十七年六月二日

鳥取縣知事 土 肥 米 之

市町村名 氏 名

溝口町	秋 田 耕 治
同	深 田 敦 一
同	山 中 榮 知
同	森 田 盛 雅

篠原育三	深田安隆	木島滿美	篠原喜十郎	瀬尾一蕃	大橋儀一	圓山義智	影山岩三郎	香山茂平	加美谷武嘉	松本權太郎	松本太清	角本熊次郎	木村義壽郎	角村清一	松本虎次郎	松本榮一郎	長谷川篤美	阿川貞重
------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------

同	中濱村	永井積善	松本勤太	永見貞郎	永井貞錄	北盛正	足立正	松本正	松本正	足立正	長山賢精	河岡雪雄	齋藤定雄	米谷雄二	村田義春	角田義	垣田兵次郎	垣田一郎	松田良三	田中久雄	森田正市
---	-----	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	-----	-------	------	------	------	------

同 池 本 源 藏  
 同 木 下 壽 男  
 同 尾 崎 善 平

◆鳥取縣告示第三百二十八號

左ノ使用者方其ノ所在地ニ於テ使用ニ係ル度量衡器計量器ハ昭和十八年五月三十一日迄第一種取締並ニ市町村長ノ行フ第二種取締ノ執行ヲ省略ス

昭和十七年六月二日

鳥取縣知事 土 肥 米 之

所在地郡是製糸株式會社鳥取工場 鳥取市吉市一番地

同 倉吉工場  
 東伯郡倉吉町大字福吉町五七番屋敷

片倉製糸紡績株式會社上井製糸所  
 東伯郡日下村大字海田一三〇番地

日本製糸株式會社湖山工場  
 氣高郡湖山村一二五八番地

同 米子工場  
 米子市錦町三丁目八九番地

福島紡績株式會社倉吉工場

東伯郡倉吉町大字住吉町四六番地  
 神樂製糸株式會社米子乾燥場  
 米子市末廣町九九番地

旭製糸株式會社

鳥取市吉市一八五番地

◆鳥取縣告示第三百二十九號

度量衡法施行令第十四條ニ依リ東伯郡及氣高郡内一部度量衡器計量器第一種取締左ノ通執行ス

昭和十七年六月二日

鳥取縣知事 土 肥 米 之

東 伯 郡  
 東伯郡倉吉町大字福吉町五七番屋敷

昭和十七年六月二日  
 六月二十二日 自午前九時 倉吉町 倉吉町特設度量衡検査場  
 六月二十六日 至午後三時 倉吉町

六月二十七日 同 三朝村、三德村、三朝村 同  
 六月二十八日 同 旭村、竹田村 旭村 同

七月十三日 同 泊村 泊村 同  
 七月十四日 同 宇野村 宇野村 同

七月十五日 同 橋津村、淺津村 橋津村 同  
 七月十六日 同 長瀬村 長瀬村 同

00544

七月十七日 同 中北條村 中北條村同  
 七月十八日 同 上北條村 上北條村同  
 七月十九日 同 日下村、西郷村 日下村 同  
 七月二十日 同 花見村、東郷村 東郷組合村役場  
 七月二十一日 同 松崎村 同  
 七月二十二日 同 舍人村 舍人村特設度量衡検査場

氣 高 郡

検査期日 器物提出時限 検査執行區域 検査場所  
 昭和十七年 自午前九時 鹿野町、小鷲河 鹿野町特設度量  
 七月二日 至午後三時 村、勝谷村 衡検査場  
 七月三日 同 逢坂村 逢坂村 同  
 七月四日 同 正條村 正條村 同  
 七月六、七日 同 青谷町、日置谷村 青谷町 同  
 七月八日 同 中郷村、勝部村 中郷村 同  
 七月九日 同 日置村 日置村 同

◆鳥取縣告示第三百三十號

昭和十六年五月鳥取縣告示第四百十九號(利器類ノ販賣價格指定ノ件)中左ノ通改正ス

昭和十七年六月二日

鳥取縣知事 土 肥 米 之

マゲネット式電氣バリカンノ小賣業者販賣價格「二五、一三」ヲ「二七、四〇」ニ改ム  
 ◆鳥取縣告示第三百三十一號  
 左記ノ者ニ對シ昭和十七年三月三十一日頭書ノ國民學校教員免許狀ヲ授與セリ  
 昭和十七年六月二日

鳥取縣知事 土 肥 米 之

國民學校訓導 資格 氏 名  
 松 村 幸 枝  
 倉 益 朝 子  
 三 上 八 重 子  
 大 岩 利 雄  
 金 兒 金 生  
 谷 口 守 義  
 小 林 ふ み 子  
 岸 本 喜 代 子  
 小 田 親 子  
 内 海 義 正  
 小 林 比 夫 美  
 福 光 花 子



空襲警報發令中は店頭買物行列等は止め、各自の持場に歸つて待機する。尙ほ子供を戶外に遊ばせることは危険であるから止めること。

(ハ) 空襲に關してデマに迷はされないこと。

軍並に政府當局の措置並に發表を絶対に信頼し、徒らに流言蜚語に迷はされることのないやう特に注意すること。

(ト) 防諜に一段注意すること。

戰時下特に敵の防諜活動の行はれる處があるので、一般國民に防諜觀念を更に徹底して防諜實踐の強化を圖ること。

### ◆食糧増産の達成

當然長期戦を豫想される大東亞戰爭下に於て國內の食糧生産確保は極めて重要であるが昨年は政府及び一般農家の眞摯な努力にも拘らず天候に災され、米を初め其の他の食糧に付ても減收となつた事實に鑑み、今年こそは昨年の穴埋をし食糧の安定を確保すべく、縣に於ては政府の方針に則り周到な増産計畫を樹て、諸般の施設を講じて居り特に主食である米、麥、豆、芋類に付ては増産目標を定めて是非共之が達成を期してゐるのである。

一般農家は肥料、資材、勞力の不足勝な時ではあるが、技術員の指導或はラヂオ書籍等適當な指導に依り、一粒の米でも多く

收穫するやう昨年にも増した熱意と努力を拂ひ特に常會等に於て斯る増産達成の申合せを行ひ、適當な措置を講ずる等此の目的貫徹の萬全を期すること

### ◆大祓式に付て

來る六月三十日には宮中を初め奉り全國の神社或は職場に於て大祓と云ふ古來傳統の行事が執り行はれるが、之は一切の罪穢を祓ひ清め、清新の意氣を以て更に力強い活動をなさんとするものである。全國民はこの趣旨を体し當日は出来る限り此の式に參列して益々堅忍不拔必勝の決意を固め大東亞建設の大業に邁進すること。

## 水稻施肥方法の改善

### — 水稻施肥基準の改訂 —

— 本年度配給肥料施用の重點 —  
— 原肥・草木灰・堆厩肥増施 —

(農務課)

本縣に於ては豫て氣温・標高・土地・地方稻作慣行並に既往に於ける試験調査の結果を基礎とし、實情を考慮して縣下を二十地區

に區別し、これに對する水稻の施肥基準を設定して各市町村農會に配布し、縣下水稻の施肥方法の適正を期して時局下米作増産の目的達成に努めて居るのであつて、本年に於ては特に農事試験場に於ける各種試験成績、昭和十七年度一月より七月に至る肥料の配給量、並に昭和十三年と昭和十六年の兩年度に於ける施肥實地狀況調査を基礎資料として、右の二十地區に適合せしめて更改設定した次第である。

従つてこの本年度施肥基準設定に際しては、大東亞戰爭下に於ける肥料事情に鑑み特に堆厩肥の増産・施肥方法の改善・硫酸アンモニヤ及び化成肥料施用量並に施肥時期・配給肥料の改訂に伴ふ施用上の注意等を考慮し、且つ土質土性其の他栽培上環境條件の特に異つた地帯に對する施肥上の注意、磷酸質肥料配給の遞減せる際黒ボク地帯の如き比較的磷酸肥料の必要な地區に對する對策たる堆厩肥の増施、青刈大豆紫雲英等綠肥施用上の注意事項等に留意して、配給肥料の遞減に對處して施用肥料の肥効率を増進せしめるやう研鑽努力を希望する次第である。

今この各地區別施肥基準に定めた肥料施肥方法の改善及實施について記して各位の參考に資することとする。

### (一) 窒素

今回の配給窒素肥料は大部分が硫酸アンモニヤ及び化成肥料の

やうな無機質性の可溶性肥料であるから、その肥料効果を最高度に活用する爲には極めて合理的な方法によらなければならぬので、特に充分の注意を望む次第である。

### (イ) 施用方法

基肥の施用に當つては田面に灌水する以前に耕土の全土層に混和して置くのが最も肥効が大であつて、灌水した後には施用する場合に較べて倍近くの肥効を示すのである。

然るに從來の施肥作業を見ると殆んど大部分が灌水後に施用してゐるやうであるが、今後はこれを全廢して次のやうな方法によつて實施し、肥効の能率増進を圖るやう努めることが肝要である。即ち平坦部又は山間部の一般の水田では二番耨(耨返し)の後又二番耨を行はぬ地方に於ては碎土の前に全園に施肥し、その後二番耨若しくは碎土を行つて成るべく深く土壌と混和するやうに努めるのであるが、もし施肥してから灌水までに五日以上も要する場合にはその肥効を激減することになるから、灌水の見込みが立たぬ場合には見込の立つまで一番耨のまゝで放置して、施肥後五日以内に灌水の見込が立つやうになつてからこれを施用して、二番耨又は碎土を行ふやうにせねばならぬ。なほ灌水の見込は立たぬが勞力とか土質等の關係から、やむを得ず碎土整地の作業をする

00549

といふ場合には灌水見込より二 三晝夜前に全園に施肥して置き肥料の土壤水分による自然的混和を圖つた後灌水し、必ず灌水當日又は灌水後に施肥しないやうにせねばならぬ。

山間部地帯の水保ちの悪い不良田に於て灌水中(鋤込み)を施行する地帯にあつては、中耕前に田面の水を完全に落水し、又は水を最大限度に少くした後施肥して中耕をし、出来るだけ肥料を深く土壌と混和するやう努めることが必要である。

追肥に當つては完全に落水を行つて施肥した後除草(草)を行つて、肥料が土壌と充分混和するやう努めねばならない。

(ロ) 分施肥時期

肥料の分施肥は肥効の能率増進上最も必要なことであるが、分施肥の時期を測らねばかへつて稻熱病の發生とか稔實の低下、草重の増加等によつて肥効を減少低下せしめるから、分施肥の時期を失せぬやう特に注意しなければならぬ。

水稻生育過程からして分施肥の時期は基肥(根付け肥)分蘖肥、草肥及穂肥の四時期が考へられる。そしてこれらの時期は品種は勿論其の他栽培條件によつて差異が生ずるのであつて、分蘖肥の時期は分蘖増加重要なるものであるが、大体平坦部では七月十五日から二十日、山間部では七月五日から十日頃にあたる。

草肥)時期に於ける施肥は葉長を特に長大せしめるのであるが

稻熱病によつて被害を受けやすい危険時期であるからこの時期に於ては施肥しない方がよい。その時期は平坦部では七月二十五日から八月五日、山間部では七月十五日から同二十五日の頃に當つてゐる。

穂肥は稈長や穂長を増大し、又穂数を増加せしめる等施用肥料が殆ど穂の形成に利用される時期であるから、特に收量を大ならしめる大切な時期であつて、平坦部では八月十日から十五日、山間部では八月五日から十日頃に當つてゐる。

(ハ) 分施肥量

肥料を分施肥するに當つて、その施用量は栽培條件によつて相違するから最も注意を要する。

水保ちのよい田に於ては分蘖肥の施用肥料が土壌との混和の不充分なことによつて損失し易く肥効を減ずるから、寧ろこの時期に於ける施肥を除いて穂肥に重點を置き、基肥に三分の二、穂肥に三分の一の二回に分施肥するのが一番よい。

水保ちの悪い田では特に窒素の損失が多いから、基肥三分の一分蘖肥三分の一、穂肥三分の一の三回に分けてやる必要がある。しかし水保ちの悪い田であつても特に山間部では基肥三分の二、穂肥三分の一の二回とするがよい。

(ニ) 綠肥

過燐石灰のやうな水溶性燐酸でも大部分は土壌に吸着せられて水に不溶性の燐酸に變化し、灌水によつて土壌の塩基性に傾くことによつて水稻に吸収されるものであるから、これが施用に當つては基肥として施用する方が最も有効である。それに今期の配給燐酸はトーマス燐肥及び特殊化成肥料のやうな水に不溶性の燐酸が主となつてゐるから、特に基肥として施用する方が肥効増進上有効性が高い。

(三) 加里

現今加里肥料の配給は全くなく、主として加里成分は草木灰及び堆肥による外に方法がない状態であるが、特に灰類の施用に當つては生育初期に追肥(平坦部七月十五日頃)山間部七月五日頃に施用し、稻熱病の發生防止を目的とし、生育後期に追肥するやうなことは不得策であるから實施しないがよい。

(四) 堆厩肥

堆厩肥は主として地力を増進せしめるものである、地力の減耗は昨年のやうな不良天候に當つて收量の減少を來すことが甚しいのであつて、地力の増進は増産上極めて大切があるが、その爲には堆厩肥の増産増施が最も緊要な事柄である。

特に黒ボク地帯のやうな燐酸肥料の必要地帯であつても、今期の如きは燐酸肥料の配給が少く、燐酸の施用を充分にすることは

出来難いのであるが、このやうな際に於ても堆厩肥の施用によつて燐酸の不足を防止し得る成績を得るので、格別堆厩肥増産に努め、少くとも反當三百貫を施用して増産に邁進されたい。

(五) 綠肥

綠肥作物の含有窒素量は紫雲英で生草中〇・四五%、青刈大豆で〇・六%であつて、その肥効は殆ど硫酸アンモニアと同等であるから、今日の肥料不足の時に當つては充分増産に努めると共にこれが施用法について萬全を期しなければならぬ。但し紫雲英の施用に當つては、従来多用に失して稻熱病を發生せしめる例が多いので、平坦部で三百貫、山間部では二百五十貫を限度として過用しないやう留意が肝要である。

紫雲英の施用方法はその盛花期が麥の刈取前に當つてゐる爲刈取貯蔵をせねばならぬことが多いのであるけれども、一部の地方では刈取後直ちに麥田の畦内に施用するとか、空田に全部撒布して放置又は鋤き込む場合があるのであるが、刈取後直ちに麥田施用又は空田に施用する際は、とかく灌水までに相當期間があるため腐敗して窒素の損失を來すことが多いので、成るべく一時貯蔵するやうにすることが有効である。

貯蔵するに當つては生草と切り混ぜて堆積醱酵せしめることが最も有効であつて、單に紫雲英のみを堆積すると醱酵によつて窒

00550

00551

素を損失することが多い。尙混入礫の量は生紫雲英に對して重量で二―三割程度とすべきである。なほ青刈大豆及び紫雲英の施用に當つては必ず石灰を反當十貫程度併用し、肥効の能率増進を圖ることが肝要である。

### 國民貯蓄は刻下の急務

#### 負債を整理して貯蓄へ

市町村の格段の配意を望む

(振興課)

大東亞戰爭の勃發に依り國民貯蓄の飛躍的増強を圖るは刻下の急務であつて、而もこの目的完遂のためには國民齊しく長期戦の覺悟を持ち、而して之に對應する健全なる戦時國民生活の實踐に努めなければならぬのであるが、他面舊債の整理をなさずして在再これを放置するが如きは國民精神の昂揚を阻害し、延ひては貯蓄の増強に支障を及ぼすところ少くない。

此の意味に於て負債の整理も亦廣義に於ては國民貯蓄体制強化の一方法であるに鑑み、縣では此の際貯蓄組合員負債の整理をなさしめて國民精神の昂揚を圖り、貯蓄を増強して健全なる戦時國民生活の實踐を期することとなつたので、各市町村に於ては次の事項を斟酌して管下の事情に即應する如く之を實施し、所期の目

的を達せしめるやう格段の配意を切望する次第である。

一 貯蓄組合員又は家族の舊債償還に充當するため組合貯蓄の拂戻を申出た時は、組合長は負債に關する借用證書(又は其の寫)債權者の證明書、連帯人の保證書等に依つて負債の事實を確認し之を承認すること。

右に依り貯蓄の拂戻しを承認した時は其の拂戻額を組合貯蓄臺帳の拂戻額欄に記入すると共に、同額を便宜上新期貯蓄額欄及び貯蓄現在額欄に外書し、備考欄に其の事由を記載すること。

二 貯蓄組合員の貯蓄の拂戻しに依る負債の整理は、營業上普通の負債又は家庭の掛買代金等を除いた眞に已むを得ない生計上の舊債に付き之をなすこと。

三 國民貯蓄組合現況報告書、同附表及び國民貯蓄組合検査事務報告書はそれ〳〵組合貯蓄臺帳に依り之を外書整理すること(國民貯蓄組合現況報告書の貯蓄現在額欄は組合貯蓄臺帳の貯蓄現在額を其の儘轉記し、前年度末貯蓄現在額欄は前年度より繰越額を記載し、差引本年度貯蓄増加額欄は前記本年度現在額より前年度現在額をそれ〳〵(内書外書共)差引した差額を記載すること)

四 組合員の負債整理に付ては特に慎重を期し、故なく之を漏洩し貯蓄心を損傷するが如きことのないやう特に留意すること。